

米はご飯用だけじゃない編

米粉も飼料米も加工用米も、
地元の「おいしいもの」になる

福井県福井市・(株)アジチファーム 義元孝司さん

文〓編集部 写真〓高木あつ子



社長の義元孝司さん。向かって右がアジチファーム産の米粉使用の製品。左がアジチファーム産の飼料米・飼料イネをエサに育った家畜の肉・卵・牛乳。アジチとは「味と地はイコールだ」という意味だそうです



上・国道沿いにある「アグリスタイルほやほや」
下・米粉パンが売りで人が来る。パンだけで年間1000万円ちょっと売る

リスク分散で助かった

(株)アジチファームでは2014年、69haのイネをつくった。うち、主食用以外の米が半分以上の約37ha。残りは米粉用米や飼料米・飼料イネ(WCS)、加工用米、備蓄米他、すべて転作扱いになる米だ。義元さんも春先はまさかここまで米価が下がるとは予想していなかったのだが、今となっては非主食用米にリスク分散しておいて本当によかったと思う。非主食用米は補助金も入るし、売り先と契約してからつくるものなので非常に安定している。「農作業は若い人に任せてるから、私の仕事は主に給料を払う算段」という義元社長の精神安定にも大いに貢献している。

米粉用米

「農家の店」だと採算が合う

だがアジチファームの場合、非主食用米は「補助金がもらえるからいい」「イネで転作になるからいい」というだけでは決してない。必要だからつくるのだ。

3年前にオープンした直営店「アグリスタイルほやほや」は、直売所・米粉パン屋・レストランが一体となった地産地消の店。まず、ここ一番の目玉商品・米粉パンの原料に、米粉用米が必要だ。

水曜日の定休日以外は、毎日パンを焼く。

食パンやロールパンなどはもちろん、さまざまなおいしそうな米粉パンに、シフォンケーキ

アジチファーム 2014年の作付

全部で約69ha

- ・米粉用米……4.5ha
- ・飼料米(SGS・鶏・豚)……14ha
- ・飼料イネ(WCS)……8ha
- ・加工用米……8.6ha
- ・備蓄米……2ha
- ・輸出用米……0.05ha
- ・主食用米……11.5ha
- ・その他、作業請負など……20ha

